



BUSINESS REPORT

第50期中間事業報告書

2023年7月1日～2023年12月31日



Business Report 2024

第50期中間事業報告書

経営理念

Management Philosophy

私達は、チェーンレストラン事業を通じ、顧客・株主・従業員・取引先・社会の、精神的・物質的幸福を調和させ、その安定的増進を実現します。

ジョイフル 店員の誓い

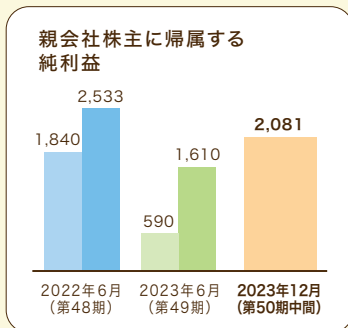
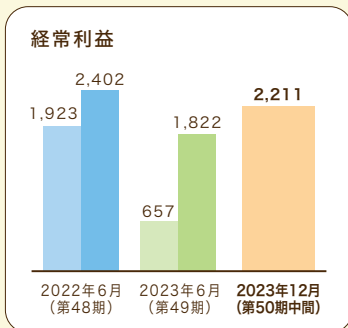
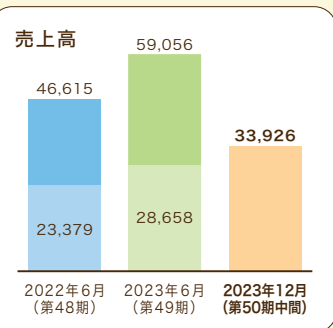
Our Promise

私達は、ジョイフルの旗のもと、信頼される品質の店、低廉な価格の店、どこにでもあって、いつでも開いている店、気軽に快く過ごしていただける店として、永続的・安定的に営業し、皆様に愛される店となります。

連結業績ハイライト

Consolidated Results

■ 中間期 ■ 前通期
(単位：百万円)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ここに第50期（2024年6月期）の中間事業報告書を作成いたしましたので、ご覧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による社会活動の制限が緩和され、穏やかな回復の兆しがみられる状況となりましたが、エネルギー価格や原材料価格の高騰、為替相場における円安の進行、中国経済の減速懸念、ウクライナ情勢の長期化など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界においても同様に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行し、需要回復傾向が続いておりますが、エネルギー価格や人件費、原材料価格の高騰など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは今後の中長期的な成長戦略を実現するため、既存のイートイン事業はもちろんのこと、テイクアウトやデリバリー販売、量販店や通販サイトを通じた販売を強化するなど、子会社を含めたグループ全体のパフォーマンス向上に取り組んでまいりました。

商品施策では、既存商品のブラッシュアップを継続して、提供品質の向上を進めると同時に、試験販売を繰り返してお客様の消費動向を慎重に分析した上で、グランドメニューの改定を1回、冬フェア「あつうま 鍋日和」などのフェアを2回行いました。

グランドメニュー改定では「蒸し鶏と釜揚げしらすのボン酢かけ定食」など和のテイストを中心としたヘルシーメニューや「大分名物だんご汁定食」など大分県発祥のジョイフルならではの九州名物メニューなどを新たに加えました。また、ライトミールや定食、デザートなど多くのメニューをリニューアルしました。

さらに人気TVアニメ「キングダム」とのコラボを2回にわたり行い、「信の天下統一大将軍グリルコンボ」「王騎大将軍 秦の怪鳥グリル中華ソース」などのコラボ商品や、ヒカル氏とのコラボ商品として「ヒカル考案冗談抜きで旨い味噌だれカットステーキ」を販売しました。

営業施策では、重点的な取り組みとして、料理のクオリティ維持・向上を目的に作業チェックシートを見直してひとつひとつ

の作業の徹底を行い、良い品質で、見た目にもきれいで、鮮度の良いおいしい料理を安定的に提供できるように努めてまいりました。

また、販売促進として、「ジョイフル宣伝部長」に就任した秋山竜次さん（ロバート）とコラボレーションした新TVCM第2弾「Debut! Joyfull Hamburg! 篇」を放映しました。さらに、都心部のお客様にもっとジョイフルを知っていただきたいとの思いから、期間限定で渋谷PARCOにプロモーションショップをオープンしました。また、便利でお得なスマートフォン専用無料アプリ「ジョイフル公式アプリ」の5周年リニューアルに伴い、来店プレゼントなどの記念キャンペーンを行いました。さらに、「キッズメニュー半額クーポン」をお盆や年末の時期にあわせて配布するなど、更なる充実を行いました。

当第2四半期連結累計期間末における店舗数は、グループ直営店2店舗の出店、FC1店舗の退店により655店舗（グループ直営606店舗、FC49店舗）となりました。

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は33,926百万円（前年同四半期比18.4%増）、営業利益は2,217百万円（前年同四半期比274.5%増）、経常利益は2,211百万円（前年同四半期比236.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,081百万円（前年同四半期比252.7%増）となりました。

なお経営指標としている「総資本経常利益率」「売上高経常利益率」「労働生産性」及び「株主資本当期純利益率」の数値改善のため、より一層の経営努力に努めてまいりますので、引き続き当社へのご理解ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長

穴見くるみ



※商品イメージ写真（実際に店舗で提供される盛付けとは異なります）

2024年6月期 上期の主な取り組み

TVアニメ「キングダム」とのコラボ企画の実施

ジョイフルでは、お食事を通じてお客様に喜んでいただけるものを提供したいという想いから、TVアニメ「キングダム」とのコラボキャンペーンを2023年10月31日から2024年1月30日まで実施いたしました。

本キャンペーンは、販売商品が前半・後半で切り替わるロングラン企画になります。

アニメに登場するキャラクターの世界観をイメージしたメニュー10品の開発や付加価値としてオリジナルクリアファイルのプレゼント、アプリやSNSと連動させたプレゼントキャンペーン、オリジナルグッズの販売等を行いました。

長期にわたりましたが、継続的に多くのお客様にご支持いただけたことは、今後のジョイフルのコラボ企画において、新たな戦略として期待できるものでした。

引き続き、アニメやキャラクター等とのコラボ企画を検討し、新規顧客の獲得、およびお客様に愛される商品・サービスの開発に努めてまいります。



© 原泰久／集英社・キングダム製作委員会

社員独立フランチャイズ制度の広がり

ジョイフルでは勤務する社員の新たな働き方の一つとして、自身が積み重ねた店舗経営ノウハウを活かして、希望地域で加盟店代表者として独立することができる社員独立フランチャイズ制度を2022年8月より開始いたしました。2024年1月1日現在で、97名（97店舗）が加盟店代表者として独立・開業しております。

社員独立フランチャイズ制度を実施することで、加盟店代表者からロイヤリティが支払われ、本部の安定的な経営が実現できるとともに、加盟店代表者は今までの店舗経営を活かしつつ、転勤のない希望地域で開業することが可能となります。また、もともと営業している店舗を使って開業を行うことで、精度の高い事業計画と本部からの全面バックアップのもとに営業に注力することができます。

今後約6年で当社店舗の約70%のフランチャイズ化を目指し、『店舗・本部の収益アップ＝加盟店代表者の収入アップ』を達成するという、新たな働き方の実現を進めてまいります。

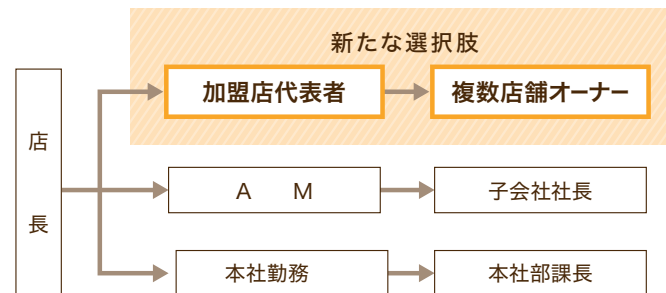


フランチャイズシステムとは

フランチャイズとは、フランチャイズに加盟する人（加盟店代表者）がフランチャイズ本部（ジョイフル）から店舗・サービス・商品などを使う権利を得て、店舗の経営・運営を行うものです。

- 加盟店代表者と本部がビジネスパートナーとして一体となり、共同で収益を上げることで、双方に利益がある関係を築きます。
- 加盟店代表者は本部の全面バックアップを受け、収益向上に専念できることで収益の一部をロイヤリティとして本部に支払っていただくビジネスモデルとなります。

■社員の働き方イメージ





※商品イメージ写真（実際に店舗で提供される盛付けとは異なります）

2024年6月期 下期の主な取り組み

多様化する「顧客」と「消費」～様々な視点による企画やキャンペーンの実施

ジョイフルでは、多様化するお客様およびニーズに対して、さまざまな角度からアプローチを行っています。

昨年「ジョイフル宣伝部長」に就任していただいた、タレントの秋山竜次さんを起用したプロモーションのさらなる強化をはじめ、公式アプリでは500名様以上に豪華賞品が当たる大規模キャンペーンの実施、ECや小売店で販路拡大中の冷凍食品「おうちdeジョイフル」の新商品開

発。そして、ジョイフルの歴史や秘密がつまった「FAN BOOK」の制作を行っています。さらに、体験イベントとして自社工場の見学ツアーを行い、ジョイフルの認知拡大や顧客ロイヤリティの醸成に努めています。

今後も、ジョイフルの魅力を多くのお客様に訴求できるように、常にお客様が求める視点に立ち、チャレンジを続けてまいります。



S DGsへの取り組み

ジョイフルでは、持続可能な社会の実現への取り組みとして、大分市のフードバンク事業者「フードバンク東九州」様へ、従業員が家庭から持ち寄った食材を寄付いたしました。寄付した食材は、必要とされている方や福祉施設に無償で提供されます。その他に、働きやすい職場環境づくりを推進することで、モチベーションの向上、労働生産性の向上、組織の活性化に繋がると考え、2020年から健康経営実施における目標を定め、「健康増進、生活習慣病予防対策」「メンタルヘルス対策」などを進めた結果、2021年3月より毎年「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定されております。

また、2018年に認定された「くるみん」は、子育てサポート企業としての実績が認められ、毎年認定交付をされております。継続して実施しているプラスチック製ストローの提供廃止、バイオマス材料を配合したテイクアウト用袋の導入などのサービスや事業活動を通じて、今後も環境保全と社会の発展のため、取り組みを進めてまいります。



子ども食堂事業と子ども支援活動への取り組み

ジョイフルでは、社会貢献活動の一環として子ども食堂事業への協力を行っています。

子ども達に提供される食事に対して食材の提供を行うことによりフードロスの削減に努めるとともに、人と人との関わりが希薄になっている現在の社会において、未来を担う子ども達に対して、地域の方々との共食の機会を提供することにより、豊かな人格育成、新たな地域コミュニティの構築などに取り組んでいます。

その一環として、2024年1月21日には、一般財団法人・大分県母子寡婦福祉連合会の会員の方「57名」を招待したお食事会を行いました。親子のコミュニケーションを図ることができ、地域の方々ともに笑顔に満ち溢れた温かい場となりました。



新店オープン

〈海外〉■台湾ジョイフル 台南仁徳店（2023年11月30日）

※（ ）内の日付はオープン日です。

Point

資産の部
当第2四半期連結会計期間末の総資産は29,990百万円となり、前連結会計年度末に比べ882百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産合計の増加449百万円、売掛金の増加222百万円によるものであります。

Point

純資産の部
当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は9,298百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,923百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加1,926百万円によるものであります。

連結貸借対照表 (要旨) (単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産	1,504	2,065
固定資産	23,527	23,898
有形固定資産	18,848	19,298
無形固定資産	362	332
投資その他の資産	4,316	4,267
資産合計	29,107	29,990
負債の部		
流動負債	1,825	2,080
固定負債	12,376	11,491
負債合計	21,733	20,692
純資産の部		
株主資本	7,182	9,109
資本金	100	100
資本剰余金	4,248	4,248
利益剰余金	4,406	6,333
自己株式	△ 1,573	△ 1,573
その他の包括利益累計額	124	106
純資産合計	7,374	9,298
負債純資産合計	29,107	29,990

Point

負債の部
当第2四半期連結会計期間末の負債合計は20,692百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,041百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少1,076百万円によるものであります。

連結損益計算書 (要旨) (単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年 7月 1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年 7月 1日 至 2023年12月31日)
売上高	28,658	33,926
売上原価	9,665	10,957
売上総利益	18,993	22,969
販売費及び一般管理費	18,401	20,751
営業利益	592	2,217
営業外収益合計	173	107
営業外費用合計	108	114
経常利益	657	2,211
特別利益	－	－
特別損失	18	25
法人税等	58	92
四半期純利益	581	2,092
親会社株主に帰属する四半期純利益	590	2,081

※金額は百万円未満を切捨表示しております。

Point

売上高
売上高は33,926百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。増収の主な要因は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行したことによる需要回復傾向に伴う売上高の上昇によるものです。

Point

**営業活動による
キャッシュ・フロー**
営業活動によるキャッシュ・フローは前期比1,963百万円増加して2,633百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2,185百万円、減価償却費827百万円、未払費用の増減額△236百万円であります。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位：百万円)

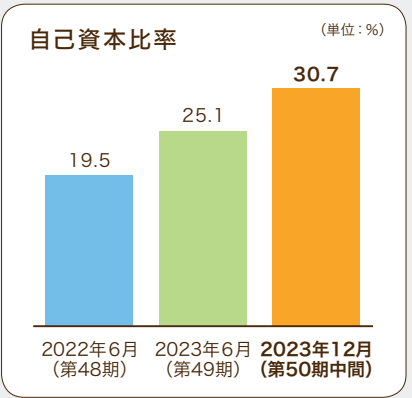
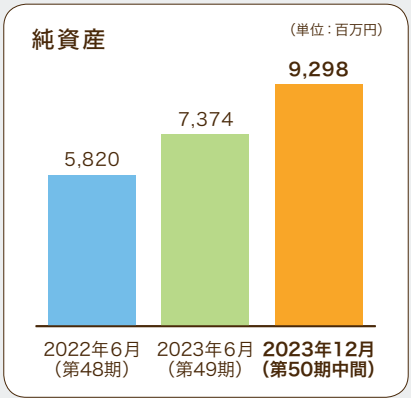
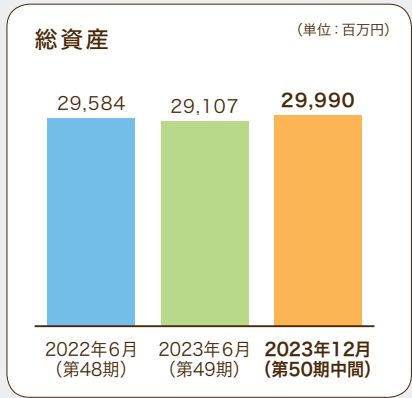
	前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年 7月 1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年 7月 1日 至 2023年12月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	669	2,633
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 480	△ 923
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,807	△1,516
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△1,598	210
現金及び現金同等物の 期首残高	3,401	2,204
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,802	2,415

Point

**投資活動による
キャッシュ・フロー**
投資活動によるキャッシュ・フローは前期比442百万円減少して△923百万円となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出943百万円、敷金及び保証金の回収による収入21百万円であります。

Point

**財務活動による
キャッシュ・フロー**
財務活動によるキャッシュ・フローは前期比290百万円増加して△1,516百万円となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出1,298百万円、配当金の支払額153百万円であります。



株式情報

株式の状況

発行可能株式総数
120,000,000株

発行済株式総数
31,931,900株

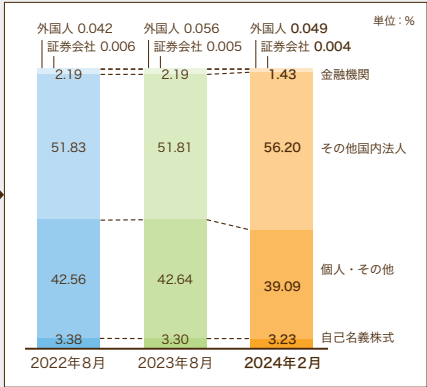
株主数
16,325名

株式の所有者別状況

	2022年8月31日現在		2023年8月31日現在		2024年2月29日現在	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	7	2,050	9	1,867	9	1,477
外国人	18	13,700	20	18,079	20	15,900
金融機関	5	698,286	5	697,786	3	455,514
その他国内法人	94	16,548,710	87	16,545,210	92	17,945,264
個人・その他	15,425	13,589,872	15,518	13,616,476	16,200	12,482,957
自己名義株式	1	1,079,282	1	1,052,482	1	1,030,788
合 計	15,550	31,931,900	15,640	31,931,900	16,325	31,931,900

※基準日時点の株主名簿に基づき記載しております。

株式の所有者別構成比率の推移



株主メモ

事業年度 毎年7月1日から6月30日
定時株主総会 毎年11月
基準日 定時株主総会の議決権／毎年8月31日
期末配当金／毎年8月31日
中間配当金／毎年2月末（中間配当を実施する場合）

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先） TEL 0120-782-031（フリーダイヤル）
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告の方法 電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載URL http://www.joyfull.co.jp/
上場取引所 福岡証券取引所

◎住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行㈱にお申し出ください。

◎株主総会資料の電子提供制度（書面交付請求）についてのお問い合わせ
お取引の証券会社または三井住友信託銀行㈱へお問い合わせ願います。
専用コールセンター 0120-533-600 受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日および12/31～1/3を除く）

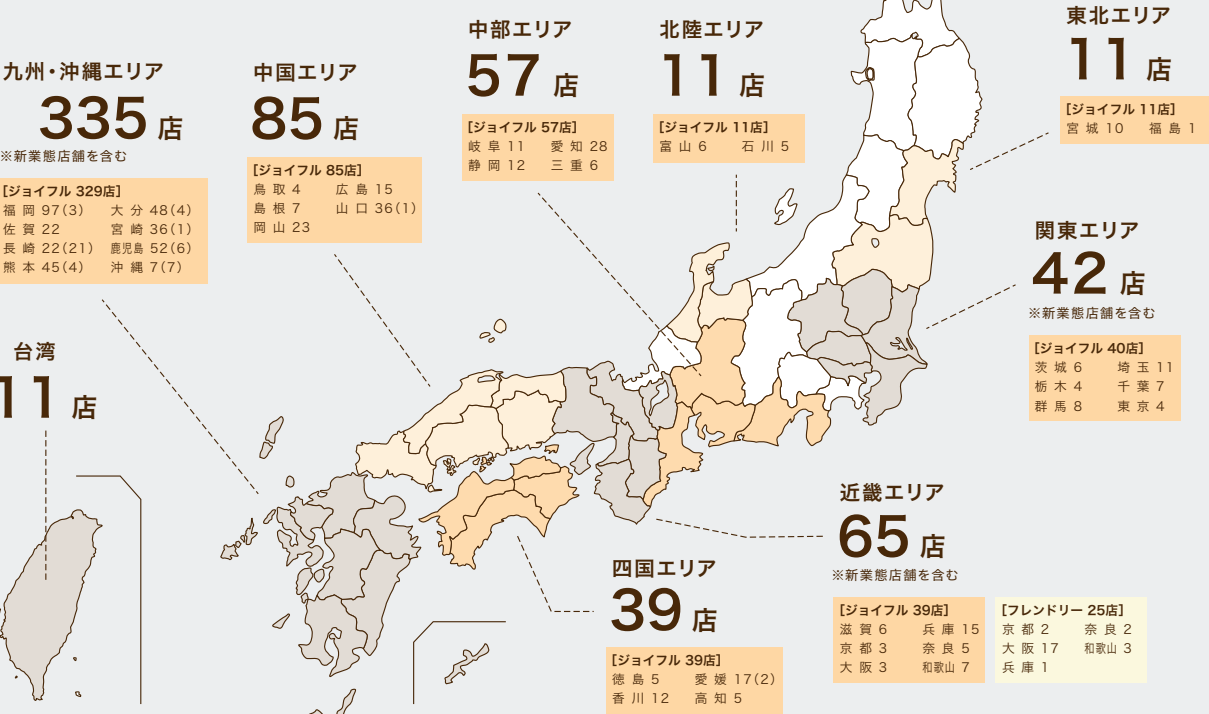
会社情報・店舗情報

グループ店舗一覧

（2023年12月31日現在）

656店

うちFC店舗49店舗 ※（ ）内はFC店舗
※新業態・台湾含む



会社概要（2023年12月31日現在）

創業	1965年6月	資本金	1億円	（連結子会社）
創立	1976年5月	主な事業内容	「ファミリーレストランジョイフル」のチェーン展開	株式会社ジョイフル北日本/株式会社ジョイフル東海/株式会社ジョイフル関西/株式会社ジョイフル中国/株式会社ジョイフル四国/株式会社ジョイフル北九州/株式会社ジョイフル中九州/株式会社ジョイフル東九州/株式会社ジョイフル西九州/株式会社ジョイフル南九州/株式会社フレンドリー/台湾珍有福餐飲股份有限公司/株式会社ジョイフルサービス/株式会社ジョイナス/株式会社ジョイフル商事
社名	株式会社ジョイフル			
本社	大分県大分市三川新町1丁目1番45号			
福岡工場・配送センター	福岡県築上郡築上町日奈古186番1号			
熊本工場・配送センター	熊本県菊池市架梁尾宇下大迫445番4号			
愛知工場	愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1番17号			